

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年1月25日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、特に追加はございません。

2ページ目上段、1月29日火曜日、(3)第674回の審査会合が開催される予定でございます。議題は3件予定されてございます。

まず、1件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号機の新規制基準の適合性の審査が予定されております。内容は、機器の耐震性について、コメント回答の予定でございます。

次に、2件目といたしまして、東京電力・柏崎刈羽発電所の6号機、7号機、こちらの審査が予定されております。こちらの内容は、内部溢水対策についてのバックフィットの関係での設置変更許可申請についての審査でございます。前回、12月中旬の審査に続いてのコメント回答が予定されております。

次に、3件目といたしまして、こちらは関西電力、四国電力、九州電力の合同の審査が予定されております。対象の発電所・原子炉は複数ございまして、川内1・2、玄海3・4、美浜3、大飯3・4、伊方3が対象でございます。

内容は、こちらも内部溢水の関係のバックフィット対策の関係でございます。これについての工事計画認可と保安規定についての審査が予定されております。これらについては、先般、許可が行われたところございまして、それを受けて保安規定と工事計画認可の申請が出され、それについての初回の審査ということで、説明をお聞きする予定でございます。

次に、その下、1月31日木曜日、(6)第258回の核燃料施設等についての審査会合の開催が予定されております。議題は、記載のとおり3件予定されております。

まず、1件目が、原子力研究開発機構の試験研究用等原子炉施設（HTTR）の新規制基準適合性の審査でございます。内容は、多量の放射性物質等を放出する事故への対策について、前回に引き続いて追加説明をお聞きする予定でございます。

次に、2件目といたしまして、同じく原子力研究開発機構のこちらは常陽についての設

工認の申請についての審査が予定されております。こちらは一昨日の原子力規制委員会におきまして報告がなされ、方針についての審議が行われたところでございます。これを受けて、具体的な審査が行われるということでございます。

次に、3件目といたしまして、近畿大学原子力研究所原子炉施設の、こちらは保安規定の変更認可申請についての審査が予定されております。こちらの内容は、非常事態教育訓練の対象者の明確化などに関しまして、昨年12月に申請が出されておりました、これについての審査を行うというものでございます。

次に、2ページ目の一番下、委員の現地視察の予定が入っております。1月31日から2月1日にかけて、四国電力・伊方発電所の現地視察に山中委員ほかが行く予定でございます。こちらの現地視察では、新検査制度の試運用の実施状況を確認するとともに、施設の安全対策などの現状を視察するという予定としてございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けいたします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方はお手をお挙げください。いかがでございますでしょうか。

お願いします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

1点だけ。毎週金曜日の地震・津波が、最近、今年に入ってどうなっているのかなという感じで、北海道もそろそろ入ってくるのかちょっと分かりませんが、泊ですね。現状、全然ないというのは、何か理由があつてのことなのでしょうか。

○大熊総務課長 御指摘のとおり、今週もございませんし、来週も現時点で予定が入っておりません。これは審査の準備が事業者のほうでできて、審査を行える状態になっている案件が現時点でまだないということによるものでございます。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—